

優秀賞 「だいすきなおみそしる」

天理市立前栽小学校 1年 山中 姫乃

わたしのいえでは、まいにちあさごはんのときとよるごはんのときにみそしるをのみます。おかあさんのみそしるは、とてもおいしいです。それは、とくべつなおみそしるだからです。みそは、わたしとおかあさんとおとうさんがつくったからです。

はじめにだいをゆでてつぶします。ちからがいっぱいあります。おまめのいいにおいがしてきます。つぎにこうじとしおをまぜます。しかくいこうじをてでもみながらばらばらにします。なぜかてがつるつるになります。しおこうじとつぶしただいをまぜます。どろだんごみたいにみそだんごをつくります。

みそだんごをおとうさんがいれものにみそだんごをぎゅうぎゅうづめにいれます。とんとんしたらおかあさんがしおをぱっぱとかけます。ふたをしめるときおいしくなあれ、なつがおわるまでのおたのしみとみんなでいいます。

あきになるとおいしいおみそができあがります。わたしのいちばんすきなおみそしるは、ぶたじるとおくらのみそしるです。おかわりをいっぱいします。

ほいくえんのきゅうしょくのせんせいがみそは、からだをつくるあかのたべものとおしえてくれました。わたしは、おみそしるをいっぱいむので、せがたかいとおもいます。これからもだいすきなおみそしるをたくさんのみます。